

圧縮空気システムに関する技術適用可能性調査（FS）と 企業内研修を通じ、インド日系メーカーの更なる省エネに貢献

概要

2018年に行った、インドを代表する自動車製造工場における圧縮空気システムのFSと企業内研修は、同工場の省エネの達成に大きく貢献した。

FSの結果、さらなる改善の可能性のある取組として、機械式ブースターから電気式ブースターへの切替やエアリーク調査実施等を提案した。後日、その調査結果を教材にして、多くの工場関係者を対象に、改善点や効率的な運用手法等に係る社内研修を開催した。

その後2019年に実施したフォローアップ調査で、圧縮空気量のエアリーク調査等を含む日本人専門家の提案事項が実施されていることが判明し、その結果、年間約25万kWh（約170万ルピー（約298万円）相当）のエネルギー削減の達成が報告された。

（* 1ルピー=1.75円で換算）

関連記事 https://jprsi.go.jp/ja/activity-report/r7_seminar_06

関連記事 https://jprsi.go.jp/ja/activity-report/r7_seminar_07

写真

企業内での研修

